

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



お楽しみ会特集【その3】ばらぐみ・ももぐみ

●年少さんにとっては、全てが新しいことへの挑戦です。コマ回し一つを取っても、きつと一人一人の紆余曲折があったことでしょう。はじめてきちゃんと回った時には、どんなにか嬉しかったことでしょう。そして、この日の「どや顔」です。見せ方の違いは興味深いですね。



●幼児期に、劇遊びやごっこ遊びをたっぷり経験しておく、きつと本が読めるようになったときに、自分が主人公になった気持ちになって豊かに心情や場面をイメージしながら読めるようになると思います。みんな主役なのが劇遊びです！

●どうしてこんなにも、無邪気で楽しそうに踊れるのでしょうか？音楽が流れると、自然と体が動き出す！日頃のいざこざなんか吹き飛んで、手をつなぎ笑顔を変わけて踊る子どもたち。本当にうらやましくなります。こういう遊びをたくさんすれば、理屈抜きで仲良くなれそう！



●年少さんのお楽しみ会は、先生の緩やかな導きに、子どもが気持ちに乗っけていくスタイルでした。いいところや頑張っているところを見てほしいと思いつつ、日頃の姿もついつい出してしまう・・・。そんな姿も微笑ましいといったお家の人たちの表情でした。さあ、怒涛の成長を見せる次の1年に期待です！